

<h1>財務会計 I</h1>		学 年	2 年	単 位 数	5 単位
科目の概要	全商簿記検定 1 級の問題演習と解説を中心に、株式会社会計と財務諸表作成能力を身に付ける。さらに日商簿記検定 2 級の演習等もおこなう。				
学習の目標	株式会社の会計処理及び財務諸表の作成に関する知識と技術を身に付け、そこから得られる会計情報をビジネス活動に活用できる能力を養う。				
使用教材	教科書：新財務会計 I（実教出版） 問題集：完全段階式標準検定簿記問題集 1 級会計（東京法令）				
内容・進 度 ・形 態	1 学期	2 学期	3 学期		
	貸借対照表の作成 ○貸借対照表の区分 ○資産の評価 意味・分類・評価について ○流動資産 当座資産 棚卸資産 その他の流動資産 ○固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産 ○繰延資産 ○流動負債 ○固定負債 ○純資産の意味と分類 資本金 資本剰余金 利益剰余金 株主資本等変動計算書	損益計算書の作成 ○損益計算書の区分 ○損益計算の意味と基準 ○営業費用と営業収益 ○営業外費用と営業外収益 ○特別利益と特別損失 ○その他の財務諸表 株主資本等変動計算書 注記表 附属明細書 ○財務諸表の活用 ○連結財務諸表の作成	○全商 1 級会計対策 財務諸表分析の活用 発展学習（日商 2 級） ○本支店会計 ○3 勘定 ○精算表 ○伝票会計と帳簿組織		
学習方法	毎時間の問題演習を完全に理解することが大切です。解らない状態で放り出さないで、必ず家庭学習の中で復習をすることが必要です。				
留意事項	1 年次の簿記より、学習する範囲が広がります。そして、当然会計処理自体も高度なものですから、中途半端な気持ちでは通用しません。毎日、わずかな時間でも問題演習するように心がけてください。				